

# 困難な状況の今こそ、憲法の輝きを！

## 5・3憲法フェスティバルの成功を！



2年ぶりの、待ちにまった憲法フェスティバル開催の準備が急ピッチで行なわれています。

昨年は、東日本大震災がありました。実行委員会はすでにポスターやチラシは印刷が済んでいました。しかし何回かの会議を行なった結果、最終決定で憲法フェスティバルは中止し、「震災からの復興」を祈って水戸駅南口で宣伝とカンパ活動を行ないました。参加者58人（平和委員会23人）でチラシ1500枚を配布し、52,129円のカンパが集まりました。集約した557,129円を茨城新聞を通じて義援金として送りました。

今年の憲法フェスティバルは、メインに「福島を悲しみを共有するために」と題する清水修二（福島大学副学長）さんの記念講演があります。企画広場では「自然エネルギー・原発を考える」「沖縄の基地展」「消費税を考える」「TPPでどうなるの」「9条の会交流会」「音楽の広場」等、多彩な催しがあります。1日楽しめる企画では「子どもの広場」「沖縄物産展」「模擬店」「フリーマーケット」も開催されます。また、「憲法川柳」の入選発表があります。

県平和委員会では、テントを2張りを確保し、「沖縄パネル展」「原発事故パネル展」に取り組みます。内原・友部平和の会は「トン汁」を提供します。

連休の1日、皆さんと一緒に楽しみながら、憲法を学び・考える時間にしましょう。いのちと暮らしを守るため、自ら考え行動する一歩にいきましょう。

## 憲法フェスティバルへの多数の参加を要請します！

各地域は、個人賛同10口以上、団体賛同1口以上を取り組みます。

	参加者数	個人賛同		参加者数	個人賛同		参加者数	個人賛同
1 北茨城	5	5	13 内原・友部	15	20	25 茎崎	5	5
2 美和・緒川	15	10	14 笠西	10	10	26 竜ヶ崎	・	・
3 日立	10	5	15 鹿行	20	20	27 美浦	・	・
4 太田	15	10	16 潮来市役所	10	10	28 ふじしろ	5	10
5 おおみや	10	10	17 池貝	3	3	29 取手	5	10
6 東海	15	10	18 石岡	20	15	30 筑西	10	10
7 ひたちなか	10	5	19 百里	5	5	31 結城	10	10
8 那珂	15	10	20 土浦	10	10	32 さかい	・	5
9 水戸西	20	10	21 阿見	10	10	33 古河・総和	5	5
10 水戸南	5	5	22 つくば	5	5	34 五霞	5	5
11 花だいこん	5	10	23 守谷	5	5			
12 はばたぎ	5	10	24 つくばみらい	5	5			
						合計	293	278

## 2012年憲法フェスティバル賛同のお願い

### 手をつなごう！考えよう！いのち・暮らしを守るために

大震災・福島原発事故を契機に人々のいのち、暮らし、人と人との結びつき、価値観が問い直されています。原発の「安全神話」を生んだ、企業の利益や経済成長を人々のいのちや暮らしより優先する考えも見直されるべき時です。

しかし一方では、これまでと同じ庶民に犠牲を押し付ける政治が消費税増税と社会保障の切り捨て、普天間基地の辺野古移転などの形でおしつけられ、展望の見えない不安と焦燥感の中で、改憲を唱える人たちが登場し、もてはやされています。

こういう時だから、今年の憲法フェスティバルは「手をつなごう！考えよう！いのち・暮らしを守るために」をテーマに行うことにしました。「福島を悲しみを共有するために」と題し、清水修二福島大学副学長に記念講演をお願いできました。

私たちが続けてきた、憲法フェスティバルがいつそう大切になっているときです。

持てる力を大いに発揮し、連帯の輪を広げて、成功させましょう。広場や舞台の企画も豊かに準備されています。集会当日の成功はもとより、5月3日までの運動を通じて、多くの市民に賛同と連帯を広げていくことをめざし、ポスターのはり出しも行ないます。

つきましては、ぜひみなさんに集会への賛同と賛同金のご協力をお願い致します。賛同金は集会の成功にあてられます。賛同金は個人一口1,000円、団体一口3,000円とします。ぜひ、一つ一つの力が、世の中を動かす力となるように、ご協力をお願いいたします。

2012年 憲法フェスティバル実行委員会代表 長田満江・田村武夫



## 常任理事会

## 行事予定

- 5月 1日（火）メーデー
- 5月 3日（木・祝）憲法フェスティバル
- 5月13日（日）県平和委員会第7回常任理事会
- 5月27日（日）県平和委員会代4回理事会
- 6月17日（日）県平和委員会大会
- 6月30日～7月1日 日本平和委員会大会
- 7月21日（土）県平和委員会20周年記念行事

## 平和新聞

2012年4月25日（水曜日）

1985号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 **日本平和委員会**  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版

No. 623

2012.4/25

〒310-0912 茨城県水戸市 5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 道理なき再稼働は許されない！

『事故究明、徹底調査がすべてのスタートの大前提』（2011年9月予算委員会での野田首相の答弁）の言明の舌のねも乾かないうちに！

第1に、福島原発は放射性物質で汚染され、いまだに内部の様子すら分からない現在、事故原因が究明されたとは程遠い状態にあります。

第2に、「ストレステスト」の一次評価だけをもって、原発の安全性は保証されたかのように主張して、再稼働に突き進むのはまったく道理がありません。

第3に、「ストレステスト」を進めている電力会社、それを「審査」する原子力安全・保安院、原子力安全委員会の3者は、そのすべてが、福島原発事故に重大な責任を負い、資格なしといわれている組織であり、そのような組織による原発の安全性の保証など成り立ちようがありません。

いま政府がなすべきことは、やみくもな再稼働ではなく、原因の徹底究明、事故の収束に全力をつくし、被害への全面賠償・徹底した除染を責任をもってすすめることです。

いま、「今年の夏は、原発を稼働させないと電力が不足し大規模な停電がおこる」の報道が過熱しています。財界とマスメディアの脅しに恐れず「全部の原発が停止しても電力不足は起らない」との事実を多くの人に知らせることが重要です。

政府の発表「今年の夏は0.4%の電力不足」を民間機関が「過大な需要見積もり」と批判

## 原発なしでも、余力がある！

政府は4月23日、夏の電力需給について、「原発の再稼働がなければ、全国で0.4%の電力不足が生ずる」との、受給検証委員会（政府機関）の推計を発表しました。

一方、環境エネルギー政策研究所（ISEP：民間研究機関）は、「今年の夏に全部の原発が停止しても、すべての電力会社で電力を十分まかなえる」との推計を提出しました。

ISEPが発表した資料は、政府の推計を「過大に見積もった需要を固定化している」と批判し、「原発再稼働問題と電力

## 再稼働に固執する背景に・・・

国民世論を無視し、関電大飯原発の再稼働へと突き進む野田政権。安全をないがしろにした「政治判断」の背景には、原発推進勢力から「金・票・人」の提供を受ける全面的な癒着があります。

民主党本部は、「原発利益共同体」の団体『日本原子力産業協会』（原産協会）の会員企業から献金を受けています。2009年には原子炉メーカーの三菱重工業から500万円、核燃料を調達する住友商事から200万円など計2350万円の献金を受けました。「全国電力関連産業労働組合」（電力総連）から流れるカネも莫大です。2010年は五つの民主党県連、国会議員13人、地方議員に計1億2千万円が提供されています。

また、原発推進勢力と政府・民主党との間には、選挙支援や労組の出身議員などのつながりもあり、強力です。

需給問題は切り離し、稼働問題は安全性と社会合意により判断すべき」と提言しました。

ISEPは、「原発の再稼働をしなくても、2012年夏のピーク時の電力需給を満たせる節電対策が可能なのは、2011年夏と2011年冬の実績ですすでに立証されつつある」と判断しました。

2011年なみの節電を実施し、発電設備を再点検して供給力を見直せば、今年の夏も全原発が停止したままでも、電力ピーク時に全国で16%以上、需給の余裕を確保できると推計しました。

関西電力で全部の原発が停止しても、11年なみの節電に加え、供給する余力のある他の電力会社から融通したり、自家発電調達など約150万kWの追加対策があれば、ピーク時の電力を確保できるとしています。

政府の電力会社の別推計は、関西電力で16.3%の不足を見込んでいます。九州電力では3.7%、北海道電力で3.1%の不足。東北電力と四国電力では電力の安定供給に必要な3%の予備電力を持つに至らないとしています。

《4月24日「しんぶん赤旗」記事参照》

## 【シリーズ】わか街・わか会員

水戸市／金子 直美さん（はばたき平和の会）



### 学んで知っていく

私が、平和や憲法などの運動に参加し始めたのは水戸翔合同法律事務所に入所してからです。高校卒業後に就職をしたので約5年前になります。

就職した先が、「普通」の企業だったなら、憲法の大切さや今の政治が少し(だいぶ?) おかしいことについては全く気にも留めなかったです。いまでは街頭宣伝でピラを配り、学習会に参加していますが、翔に入るまではテレビの中だけのようで他人事のように感じていました。

運動に参加する度に新しい発見があり、人生や考え方が良い方向に大きく変わったと感じています。それまで自分が知らなかった労働問題やえん罪事件、貧困や産廃、沖縄基地、原発や憲法改悪の問題などに関する様々な運動に自分が少しでも関わっていることが嬉しいです。

自分の中で勉強不足なものが多くありますが、今後も運動を通して物事をきちんと見極めていけるように理解を深めていけたらいいと思います。

(2012/4/23)

## 取手革新懇結成4周年記念講演会のお知らせ

「野田政権の政治はどこにおかうのか」

= 一体改革は、原発再稼働は、TPPは、改憲は =

講師：渡辺 治 氏（一橋大学名誉教授）

とき：5月13日（日）午後1時半開会

ところ：取手市福祉交流センター多目的ホール  
(取手市役所向い側。駐車場は十分にあります。)

どなたでも自由に参加できます。

資料代 500 円

主催：取手革新懇

(問合わせ) 埜川利内 0297(72)1745

神原禮二 090-4527-7768